

平成 30 年 6 月 1 日  
観 測 部  
地球環境・海洋部

## 春（3～5月）の天候

2018年（平成30年）春（3～5月）の日本の天候は、期間を通して暖かい空気に覆われやすかったため、全国的に気温の高い状態が概ね持続し、平均気温はかなり高くなりました。降水量は北・東日本日本海側でかなり多くなりました。日照時間は東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美でかなり多くなりました。

2018年（平成30年）春（3～5）月の天候の特徴は以下のとおりです。

○全国的に気温がかなり高く、東日本では記録的な高温  
期間を通して暖かい空気に覆われやすかったため、全国的に気温の高い状態が概ね持続し、平均気温はかなり高かった。特に東日本の平年差は+2.0℃で、春としては統計を開始した1946年以降では1位の高温となった。

○降水量は北・東・西日本で多く、沖縄・奄美でかなり少なかった  
低気圧の通過時に、南から湿った空気が流れ込みやすかったため、北・東・西日本では降水量が多く、北・東日本日本海側ではかなり多かった。一方、沖縄・奄美では、湿った空気や低気圧の影響を受けにくかったため、かなり少なかった。

○日照時間は東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美でかなり多かった  
東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美では高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったため、日照時間がかなり多かった。

[別紙（概況、統計値等） \[PDF形式:347KB\]](#)

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 青木（観測値や記録について）  
電話 03-3212-8341（内線 4154） FAX 03-3217-3615  
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川（天候の解説について）  
電話 03-3212-8341（内線 3154） FAX 03-3211-8406